

⑩ 茨木市立中条小学校

(1) 事前打ち合わせによる学校別背景とその取り組み



子供たちの身近にあるペットボトル・アルミ缶・スチール缶を題材に、原料は何かなど、インターネットや図書館で調べ学習をしていました。また、リサイクル工作や川柳を作り、全員の川柳を学校の入り口に掲示し、校内の子供たちにアピールしていました。2学期にエコ貯金や省エネルギーについて学習し、3学期には、情報を発信しようをテーマに取り組みとのこと。そこで、事後学習で、情報発信できるパネルを贈呈する授業構成にしました。

(2) 8つのテーマに分かれたパネルディスカッション



グループでテーマを決めます。テーマ毎に配布された資料を分担してまとめます。必要なデータ資料は切り取りパネルに貼り付け、分かりやすく見やすくまとめます。できたところまでをプレゼンしました。簡潔にまとめているグループ、あれもこれも入れたくて悪戦苦闘しているグループもいました。まとめきれなかった所は、後日改めて先生とまとめて、学校内に向けて発表します。

(3) 3つの実験-減容化・分離・発泡



(4) 子供たちの様子

リサイクルの流れをまとめるグループは、サンプルボックスの中から、「ペレットはどれ?」と聞きながら、「あったらちょうだい。パネルに貼り付けるで」と言い、パネルに熱心に貼り付けていました。難しい資料からそれを読み取り、必要な箇所を切り抜き自分達のパネルに貼り付け、それをまとめて発表する等の流れにも、諦めずにチャレンジしている様子に、先生も驚いてみえました。先生は、「この授業に引き続いて進めます。自分たちが今まで取り組んできた学習のねらいに沿って環境教育ができるのでよかったです」とお話し下さいました。